

街の元気 ● みんなの元気を応援します

# VIVA city

ビバ  
シティ

公益社団法人  
石川県柔道整復師会

石整広報 119

## 特集 能登半島地震

柔道整復師会はどう動いたのか？

嶋谷清特別顧問「旭日双光章」を受章

VOL.  
33

2024  
August

輪島市門前町  
黒島漁港

## **[ 柔道整復師倫理綱領 ]**

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA ビバ  
シティ city

公益社団法人  
石川県柔道整復師会

石整広報119

VOL.  
33

2024  
August

C O N T E N T S

1 巻頭言

能登半島地震 被災地へ—— 西川 典孝

2 第49回 定時総会を開催

5 喜びの受賞者

7 [特集] 能登半島地震 柔道整復師会はどう動いたのか？  
救護活動REPORT

11 講演会／研修会

15 嶋谷清特別顧問「旭日双光章」を受章

16 サポート接骨石川 (SSI) 活動報告 第73回金沢百万石まつり

17 会旗争奪少年柔道大会・少年柔道形競技会

19 教えて先生！ 突然の小児肘内障(ひじ抜け)！ どうしよう？

20 第30回 石川県柔道整復師協同組合通常総会を開催

21 secret spot それでも能登の海、山は美しい

22 トピックス

23 新入会員紹介

## 巻頭言

かんとうげん

# 能登半島地震 被災地へ— 各団体との連携の中で活動

会員の皆様はもとより、「Viva City」をご愛読頂いている皆様には、平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。昨年5月の定時総会において、令和5・6年度公益社団法人石川県柔道整復師会副会長の重責を拝命いたしました。副会長として早1年が過ぎますが、新たに就任した二ッ谷会長はじめ堂本副会長ともども、心を引き締めて職務を全うすべく邁進する所存です。新たな執行部、事務局が一つになって会員皆様のご協力を頂きながら会務に取り組む決意でございます。

## 地震発生直後 対策本部を立ち上げ

お正月気分真ただ中の1月1日午後、能登半島を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生しました。地震の規模はM7.6、奥能登で最大震度7を記録し、その後も震度5以上の強い余震が能登地方から石川県全域を繰り返し襲いました。発生と同時に日本柔道整復師会で「日本柔道整復師会災害対策本部」を、石川県柔道整復師会もただちに「石川県柔道整復師会災害対策本部」を立ち上げました。

地震発生直後、本会災害対策本部が真っ先に開始したのは全会員の安否と施術所の被災状況の確認でした。しかし被害は甚大であり、施術所・住宅の倒壊等で避難所への避難や自主避難をする会員も多く、全員の被災状況や安否確認には数日を要しました。また本会対策本部では、石川県防災対策本部(県庁)・日整災害対策本部と細かな情報を共有しつつ、柔道整復師としての活動内容の協議を開始。そのような中、石川県医療対策課より正式に災害派遣の要請がありました。本会災害対策本部では、県防災対

## ■西川 典孝

(にしかわ のりたか)  
(公社)石川県柔道整復師会 副会長

### 【プロフィール】

平成17年より理事を務め、以来、事業部長、保険部長、総務部長、金沢南支部長を歴任。令和5年5月に副会長に就任する。



策本部・医師会・DMAT・JMAT・日赤等と協議を進め、1月中旬より会員有志を募りました。1月は毎日、2月と3月は土・日曜に救護活動及び廃用予防の運動と指導にあたり、延べ参加会員159名、活動日数29日、活動場所122か所、対応人数は246名に上りました。今回の救護活動は、これまでの災害とはまったく別の新しい対応だったと思います。

## 療養費の算定基準 一部改正

先日厚生労働省より『「柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準」の一部改正について』の通知が発出されました。料金面では、物価高騰を勘案して初検料、電療料が改定されました。また10月1日より明細書の交付義務化が対象施術所において拡大され、明細書発行体制の加算額が改定されます。また、長期・頻回受領に関する療養費の逡減が大幅に見直される予定です。これからも柔道整復師として国民からも保険者からも望まれる適正な運用をお願い申し上げます。

最後に柔整業界の発展と本会の会務運営に各位のご理解と協力を重ねてお願いいたします。

第49回

# 定時総会を開催

～能登半島地震の対応について報告～

令和6年5月19日(日)、石川県地場産業振興センターにおいて第49回石川県柔道整復師会定時総会が開催されました。また総会開会前に、昨年11月の秋の叙勲で旭日双光章を受章された嶋谷清特別顧問への目録贈呈式が行われました。

## ■ 第49回 定時総会 (9時30分開会)

総会員数 / 279名      出席者数 / 112名  
委任者数 / 132名      欠席者数 / 35名

ニッ谷会長から  
嶋谷特別顧問に  
お祝いの目録が贈呈された。



### 1、開会の辞

堂本 義邦副会長

### 2、会長挨拶

ニッ谷 剛彦会長



1月1日に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に慎んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

会員減少は全国的な課題。解決に向けて取り組みたいとニッ谷会長。

幸いにして会員及び会員家族には人的被害がなく、安堵しているところです。一日も早くインフラなどが整備され、平穏な暮らしが戻りますよう心より祈念申し上げます。

今回の地震で本会は、石川県防災協定に基づいて石川県災害対策本部や日整災害対策本部と連携をとりながら救護活動を行い、各関係団体や自治体から評価を頂きました。多くの会員の皆様に参加、ご協力頂きましたことを心より感謝申し上げます。

昨年度は公益事業活動として、各種スポーツ大会やイベントで救護活動を実施しました。ま

た文化講演会、学術講演会を開催し、一般の聴講者にも多数ご来場を頂きました。

今、全国の各都道府県柔道整復師会でも会員数が減り、会費収入の減少が課題となっておりますが、これを解決すべく対策に取り組んでいく所存です。 (要旨抜粋)

### 3、議長・副議長選出

議長に坂井秀一会員(金沢南支部)、副議長に高出伸也会員(金沢南支部)を選出。

### 4、議事録作成人・署名人の選出

作成人 / 山田 誠会員(能登支部)

署名人 / 坂田 浩之会員(金沢北支部)

河村 三紀会員(金沢南支部)

令和5年度に本会が実施した事業について審議が行われた。





坂井議長(左)と高出副議長により審議が進められた。



会員から熱心な質問があり、活発に意見が交わされた。

## 5、議案(審議事項)

### ①令和5年度事業実施報告に関する件

担当/川上 勝総務部長

### ②令和5年度収支決算報告並びに監査報告に関する件

担当/津田 佳之経理部長

津田経理部長の説明の後、大徳勇監事より監

査報告があり、適正に会計処理が行われている旨報告された。

### ③定款一部改正に関する件

担当/津田 佳之法制委員長

### ④役員選任規程に関する件

担当/津田 佳之法制委員長

## 6、報告事項

### ①令和6年度事業計画に関する件

担当/川上 勝総務部長

### ②令和6年度予算に関する件

担当/津田 佳之経理部長

### ③役員等の旅費規程に関する件

担当/津田 佳之法制委員長

### ④福利厚生規程改定案に関する件

担当/津田 佳之法制委員長

## 7. 閉会の辞

西川 典孝副会長

総会終了後、昨年度入会した2名の会員の紹介と挨拶がありました。また、西剛志学術部長より、6月16日(日)に長野県で開催される北信越ブロック学術大会において磯松俊也会員

## 石川県接骨師連盟総会が開催される

令和6年5月19日(日)午後1時より、石川県地場産業振興センターにおいて石川県接骨師連盟総会が行われました。議長に坂井秀一会員、副議長に高出伸也会員を選出し、次の議題について審議しました。

### 【議題】

#### ① 令和5年度事業実施報告に関する件

#### ② 令和5年度収支決算報告並びに

監査報告に関する件

#### ③ その他

各議題とも詳細な説明と報告があり、賛成多

■委員総数 279名

■出席者数 113名

■委任者数 133名

■欠席者数 33名



佐々木はじめ衆議院議員  
(海野将志秘書)



岡田直樹参議院議員  
(大畠央三秘書)

数にて承認されました。

なお、総会には佐々木はじめ衆議院議員と岡田直樹参議院議員の秘書がお見えになりご挨拶を頂戴しました。

(金沢北支部)が石川県代表として発表を行うことが報告されました。



西学術部長から、北信越ブロック学術大会の発表者が磯松会員に決定したことが報告された。テーマは「足関節捻挫における距骨滑車骨軟骨骨折」。

新入会員紹介



嶋谷 崇司会員  
(加賀支部)



桶谷 周平会員  
(金沢北支部)

表彰状授与式

午前 11 時 30 分より総会の席上で表彰式が行われ、本会の事業運営に貢献された会員に表彰状が贈られました。今年度の石川県知事表彰は森田一哉、五十嵐久智、中野秀人会員の3名が受賞。馳浩知事よりお祝いの言葉を賜り、表

馳知事は受賞者へのお祝いの言葉に添えて、本会の活動に対して感謝を述べられた。



このたびの地震では、被災地及び1.5次避難所等で救護活動を行って頂きました。今後も県民の健康を守るためにご協力をお願い申し上げます。



彰状と記念品が授与されました。

受賞者3人を代表して森田会員が、「学生時代の校訓である『社会に役立つ人間形成』を深く胸に刻み、日々の接骨院業務や地域社会活動を誠実に努めてまいり所存です」と謝辞を述べました。

受賞おめでとうございます

本  
会  
会  
長  
表  
彰

永年会員表彰

山本浩一・日光寿弘  
小倉弘行・安田浩二  
水元和誠・松田直樹  
(会員歴25年以上)

職員勤続表彰

島垣 望・荒納由希子

日整表彰

生涯学習認定会員

真酒谷清・磯松俊也・平林祐一・大平和幸  
浅居長太郎・森田富士夫・柳沢昌孝  
中谷 博・森田一哉・西 剛志・堂本義邦  
山田俊志 (3年連続35単位以上取得)

ボランティア活動優良会員

中西 勝・平林祐一・大平和幸・西川典孝・佐藤裕之  
片田道夫・濱 亮輔・赤池敬順・山田俊志

# 喜びの受賞者

定時総会の席上、施術を通して地域医療に貢献された3名の  
会員に石川県知事表彰状が贈られました。

## 日々の業務、本会の活動に 誠実に向き合ってまいります

この度は、第49回定時総会において馳浩石川県知事より医療功労者県知事表彰を賜り、心より御礼申し上げます。

平成5年に本会に入会、接骨院を開院し31年が過ぎました。全く見知らぬ場所で期待と不安が入り混じったスタートでしたが、これもひとえに、地域の皆さんに助けられ、家族やスタッフの方々に支えて頂き、ニッ谷会長をはじめ役員、会員の皆様、本会事務局の皆様のご指導、ご鞭撻のお陰と深く感謝申し上げます。

私は高校時代に馳知事の後輩として星稜高校レスリング部に所属し、恩師の鈴木龍雄先生から厳しくも優しさのある指導を受けた経験が、この仕事を続けていくうえで大きな力になっ

たと思っております。そのレスリング部の先輩から石川県知事表彰を拝受させて頂いたことは、喜びと同時に身の引き締まる思いがいたします。

母校 星稜高校の建学の精神に「誠実にして社会に役立つ人間形成」という校訓があります。30年という節目を迎えましたが、この言葉を深く胸に刻み、これからも日々の接骨院の業務、本会の役員の仕事、地域の社会活動に誠実に努めてゆく所存でございます。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



森田 一哉

石川県知事  
表彰



馳浩石川県知事と受賞者の皆さん(左から、馳知事、森田会員、中野会員、五十嵐会員)。

## 決して驕らず、謙虚でありたい

この度石川県知事表彰を賜りましたことは、身に余る光栄と厚く御礼申し上げます。

この様な素晴らしい賞を頂いたのも、ひとえに二ッ谷会長はじめ歴代の多くの役員、会員の方々のお陰と心より御礼申し上げます。

思い返すに、私は20代前半に自身の体調不良や親の大病が続き、「私には接骨院の開業、社会貢献など夢のまた夢」と諦めていた時期がありました。そのような状況の中、木島整形外科で先輩だった窪田浩二先生の下で退局後の数年間、修業の機会を与えてくださり、またご家族の方々にも大変親切にして頂いたことで、私はこの苦難を乗り越えることが出来たと思っています。

石川県柔道整復師会に入会してからは、支部

委員、広報部員を長きにわたって務めることが出来、現在に至ります。これからも日々の業務では来院して頂いた患者様には、謙虚に真摯に向き合っていかなばと思っています。

私ごときの者がこの榮譽を賜ることに戸惑いもありましたが、亡き父母に対して贈られたものとお受けすることといたしました。そして何よりこの名誉ある受賞を汚さぬよう、これからは驕らず精進して参ります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。誠にありがとうございました。



五十嵐 久智

## 目標は生涯現役…！？ 息子と一緒に施術の日々に感謝

この度は第49回定時総会にて医療功労者県知事表彰を賜り、心から御礼申し上げます。これも二ッ谷会長をはじめ役員の方、先生方、諸先輩の方々、毎月お世話になっている事務局の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

また、今回の受賞についての記事が北國新聞に載っていたと患者さんに教えてもらい、慌てて確認したところ医療功労者受賞者3名の中に私の名前もありました。自分の名前が新聞に載ることなぞ、悪いことをするか「おくやみ」欄しかないと思っていましたので、ひそかに感動しております。

振り返ればあっという間の30年でしたが、

ありがたいことに3年前から息子と一緒に日々の施術を行っています。

私の同級生はみな仕事を卒業しておりますので、息子に「あとどれくらい仕事をしたらいい？」と聞いたところ「そうやねー、死ぬまでかな」という答えが返ってきました。「生涯現役」「死ぬまで労働」を目標に、今後も頑張りたいと思います。

これからはよろしく申し上げます。



中野 秀人

# 柔道整復師会は どう動いたのか？

令和6年1月1日午後4時10分、石川県全域を激しい地震が襲った。震源は輪島市の東北東30キロ付近、マグニチュード7.6。志賀町で震度7、金沢で震度5強を観測し、奥能登を中心に壊滅的な被害が発生。尊い人命や生活の場が奪われ、1月2日時点で県内16市町の避難所353か所に2万7785人が身を寄せていた。

【特集】  
能登半島地震

## 地震直後に災害対策本部立ち上げ、 活動開始に向けて体制を整えていった

石川県柔道整復師会には、2007年の能登半島地震、2011年の東日本大震災の被災地で救護活動を行った経験が蓄積されています。また昨年は石川県と防災協定を結ぶなど、被災地域の方々のお役に立つ活動の在り方を模索してきました。一方、日本柔道整復師会(以下、日整)でも、DMAT(災害派遣医療チーム)などとの連携を図りながら柔道整復師の力を災害現場で活かすための体制づくりを急いでいました。

今回の地震では初めて、自治体や医療関係チームなど、様々な組織との連携のもとで活動を展開することになりました。

**1月1日(月)**■地震発生後、石川県柔道整復師会(以下、本会)と日整は直ちに災害対策本部を立ち上げた。本会では会長のニッ谷災害対策本部長を中心に、地震発生直後より全会員の安否確認、施術所の被災状況確認を開始した。

**1月6日(土)**■石川県庁に設置された石川県災害対策本部に、日整災害対策室から2名の災害対策委員が入った。石川県災害対策本部に入る細かい情報を日整、本会が共有しながら救護



日整の災害対策委員とともに救護活動の準備を進めた。

活動を行う体制を整えていった。

**1月8日(日)**■難航していた会員全ての被災状況、安否確認が終了。午後2時より本会は、柔整会館において第1回令和6年能登半島地震対策会議を開催した。会議では1月14日から開始する救護活動への参加希望会員を募り、当分の間は毎日、被災地区避難所を巡回し救護活動を行うことを決定。また、被災地で活動するにあたっての注意事項、心構えなどを協議した。



会員に人的被害はなかったものの、生業を再開できる日はいつになるか…。

**1月13日(土) ■ 第2回対策会議を開催、活動についての最終確認を行った。**



参加会員の安全のためにも、段取りは入念にチェック。

**1月14日(日) ■ 救護活動開始初日を迎えた。活動参加会員19名は早朝、柔整会館に集合。出発式では二ツ谷本部長の挨拶の後、川上災害対策室長より注意事項など詳細な説明があり、理事をリーダーとする6チームを編成。それぞれのチームが担当する避難所に向けて出発した。**



二ツ谷本部長があいさつ。



川上災害対策室長より注意事項などの説明があった。

## 1月中は毎日、避難所を巡回

本会は昨年10月に石川県と災害発生時における救護活動に関する防災協定を締結しており、今回の救護活動は石川県災害対策本部からの要請を受けて行われました。また活動に際してはDMAT(災害派遣医療チーム)やJMAT(日本医師会災害医療チーム)と情報を共有し、活動方針の指示及びアドバイスを受けながら、3月末まで実施しました。

**1月 ■ 平日は1チーム、日曜日は5~7チー**

ムを編成して稼働。主に加賀地区の1.5次と2次避難所、七尾、田鶴浜、穴水町方面の1次避難所に対して実施した。

**2月・3月 ■ 土曜日、日曜日の活動となり、被害状況が厳しい輪島、珠洲などの1次避難所も巡回場所に加えた。本会の救護活動は3月31日をもって一旦休止し、要請があれば再開することになった。**

## 延べ159名の会員が参加

1月14日から3月31日までの期間で、救護活動に参加した会員は延べ159名で、122か所の避難所に身を寄せる246名の方々に骨折・捻挫・打撲・挫傷の救護や機能訓練等を行いました。加えて、被災地や避難所のニーズ調査及び被災者の状況を石川県災害対策本部に報告する役割も担いました。

この震災で被害を受けた会員の施術所は能登地区を中心に30件あり、未だに再開できない施術所もあります。今回の救護活動を行っていく中で多くの被災者と接し、直接話を聞くことができました。被災地の状況を目の当たりにしたこの貴重な経験を生かして、これからの救護活動につなげていきたいと感じました。

膝を交えながら被災者の方々の話しを伺う。



今回は、DMATなどの医療チームと情報を共有しアドバイスを受けながらの活動となった。



## 救護活動 REPORT

柔道整復師にできることは何だろう//

# 現場で知る被災地の現実、被災者の素直な思い

能登半島地震の救護活動に参加したメンバーに、被災地で感じたこと、活動を終えて思ったことなどをレポートしてもらいました。

## REPORT 1 災害関連死のリスクを 念頭に今後も活動を

能登支部 濱 亮輔



濱会員は自らも被災している(珠洲飯田小学校にて)。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災した珠洲市内の避難所での救護活動に、本会の先生方とともに3月17日、24日、31日の3回にわたり参加させて頂きました。

地震発生から2か月あまり経過したこともあって避難所で生活を送る被災者数は発災時より少なくなりましたが、長い避難所生活による膝関節痛や腰部痛、また自宅の撤去作業により負傷した足関節捻挫などを訴える方々を救護することができました。救護させて頂いた被災者の皆様の安堵された表情とお声を今も忘れることができません。

私が住む珠洲市は、いまだに避難所に身を寄せておられる方も多く仮設住宅に入居される方も増えてきました。今後は高齢の方を中心に関連死リスクなどが懸念されることもあり、再び

救護活動などの要請があれば参加することになっています。

そのためにも、日々の接骨院での施術業務においては細心の注意を払い、被災された奥能登の皆様健康を守る一助となれるよう、誠心誠意尽くしていきたいと思っています。

## REPORT 2 ニュースからは伝わらない 被災地の“現実”

金沢北支部 平林 祐一

今回の救護活動に参加した動機は、以前、東日本大震災で救護活動をされた先生から聞いた話です。「現場を見るとニュースからは伝わってこない被災状況が分かり、被災者の方の助けになることがわかるよ」という言葉が耳に残っており、能登半島地震で私に出来ることはないかと思い参加しました。

現場に入ると、倒壊した建物、崩落した道



明るく振る舞う被災者に励まされて(門前東小学校にて)。

路、海岸隆起で干上がった海などを目の当たりにして、能登の姿が大きく変わってしまったことにショックを受けました。被災された方は様々な事情と感情をお持ちだと思いますが、救護活動をしていく中でほとんどの皆さんに明るく接して頂きました。中にはご自身も被害を受けているのに、もっと大変な人がいるからと避難所の運営を頑張っている方もいらっしゃいました。救護に行った私の方が励まされる事が多かったです。

地震の被害は大きく、これから復興には長い時間がかかると思います。今回私が救護活動としてできたことは少ないですが、これからも随時、私ができることをさせてもらいたいと思っています。

## REPORT | 先が見えない 3 被災者の不安をひしひしと

加賀支部 宮崎 清美

元日の能登半島地震発生時、私は帰省中だったため急遽帰宅することに。道中、高速道路では全国からの支援の車やトラック、自衛隊の車列を見かけ、北陸に入ると帰りを急ぐ北陸ナンバーの車と支援車輛の列で混雑し、この光景は今思い出しても胸にこみ上げるものがあります。自宅も院も震源地から離れていたため被害はありませんでしたが、能登の状況をニュースで見ると、一刻も早く救護活動に参加したいという気持ちを抑えつつ柔道整復師会からの依頼を待ちました。

救護活動は1月15日より3月末まで実施されました。感染症の蔓延や道路状況も考慮して、当初は金沢、加賀地区の1.5次、2次避難所を中心に活動し、途中、被災地である穴水地区での活動にも参加しました。1月の救護活動では地震の衝撃や記憶が被災者の方々に鮮明に残っており、捻挫・挫傷程度のケガは我慢する



被災者の方々が抱える不安は想像以上に大きい  
(金沢市キゴ山ふれあい研修センターにて)。

様子が見られました。また、感極まって私の手を握って離さない人に接したときは、被災された方々の辛さと先の見えない不安が感じられました。

金沢市の額谷ふれあい体育館には多くの方々が避難されており、訪問する回数が多かった避難所です。その中で、お声掛けしても遠慮していた高齢者の方が救護活動最終月の3月になり、何度も接するうちに、ようやく自分のことや施設に対しての要望をお話ししてくれました。もっと早く知りたかった情報でしたが、一歩踏み出したような素直な気持ちを聞いたことが本当に嬉しかったです。

私の3か月の救護活動は平日も含めて週に1、2回でしたが、被災者の方たちとのコミュニケーションの大切さや避難所の改善、非常時における柔道整復師の在り方、可能性を強く感じる活動でした。

被災者には息の長い支援が必要です。救護活動を再開することになった際は、ぜひご協力ください。



門前東小学校にて



珠洲市緑が丘中学校にて

公益社団法人石川県柔道整復師会では施術者としてのスキルに磨きをかけるため様々な講演会、研修会を実施しています。

## 公開学術講演会

開催日 ■ 令和6年2月18日(日)

会場 ■ 石川県地場産業振興センター新館

# 上手く「めまい」と 付き合うヒント

講師／医療法人社団健真会耳鼻咽喉科・  
安田医院副院長 **安村 佐都紀**先生



(公社)石川県柔道整復師会主催の学術講演会が開催され、一般の方を含む約110名が参加しました。富山大学医学部で「めまい神経耳科」を専門とする教室で学ばれた安村先生が日々の診療で患者さんに話されていることを中心に講演が進められました。

### PROFILE

京都府出身。富山大学医学部卒業、専門は神経耳科学。  
日本耳鼻咽喉科学会・日本めまい平衡医学会・  
耳鼻咽喉科臨床学会・日本耳鼻咽喉科専門医・  
めまい平衡神経学会代議員 など

## Ⅱ 患者さん自身の“気づき”が治療を助ける

安村先生が新人医師として大学病院に入られた頃は「見て覚えろ」の時代でした。先輩医師や看護師にいろいろなことを教わりながら診療をこなす日々の中で、何よりも担当の患者さんから多くのことを学ばれたそうです。

先生は、不安を持って来院される患者さんには「大丈夫、大丈夫。残念ながらめまいが治ることは難しいのですが、上手く付き合って前向きにいきましょう」と伝え、メモを取ることを勧めます。「いつ」「どこで」「何をしている時」「どんなめまいだったか」、関係あることや誘因と思われることなどについてメモをしてもらい、「朝、目が覚めた時に天井が動いていた」「家の

人を送り出した時にフワッとした」など詳しく話を聞くことが、診断の大切なポイントになるということです。

その一つの例として、先生が大学病院時代に出会った印象深い患者さんの話をしてくださいました。慢性めまいで日常生活もままならず、心も暗くなり、とうとう車いす生活になってしまった60歳の女性で、精査及びリハビリを目的に入院されました。先生はこの患者さんの凝り固まってもつれたものを一つひとつ解きほぐすように問診をしながら治療を進めていきます。この患者さんは、耳と目からの情報と下肢の筋肉、関節からの情報に頭が順応して相補ってバランスを取りながら日常生活をおこなうことが上手くいかない状態にありました。



一般の方も含め、会場から多数の質問があった。

長期間にわたるリハビリに取り組んでもらう中で、患者さんとの会話から「皿洗いができるようになったけど、蛇口の水は見ないで洗う」「階段の上り降りにはできるようになったけど、後ろ向きに降りる」など、患者さん本人にしか分からない日常生活の中での“気づき”を学ばせてもらったとおっしゃいました。

この患者さんは、来院から1年たった頃からめきめきと症状が改善し、日常生活もほとんど問題なくこなせるようになりました。このような“気づき”を励みに、目的をもって前向きに楽しく、できることを工夫しながら生活することが、リハビリにおいてもモチベーションを保ち続けるための助けになると教えてもらったとのこと。

## II めまいは寝ても良くならない

めまいには脳卒中、脳梗塞、脳出血が原因とされ救急外来に受診の必要がある「危険なめまい」と「良性発作性頭位めまい症」「メニエール病」「頭痛関連性めまい症」などがあり、今回の講演では「良性発作性頭位めまい症」について詳細に説明されました。

- 原因…耳石\*の落下、内リンパ水腫、血流障害、ウイルス、更年期、自律神経障害など
- 随伴症状…吐き気、嘔吐、頭痛、耳鳴、耳の響き、つまり感など

※耳石…血球(約100分の1ミリ)ほどの大きさで、三半規管の中の耳石器に入っている。

耳石が耳石器から落ちて、三半規管に入り込んでしまった時にめまいが発生します。よくある誘因として、子どもと寝ているので寝返り出来なかった、ソファや車で寝てしまった、ヨガで無理な体勢をとった、ペンキ塗りで長時間上を向いていたなどで、このような患者さんに対しては、「非特異的運動療法」ゴロンゴロン体操を行わせます。三半規管には水が入っており、ゴロンゴロンしているうちに落下した耳石が混ざり合い溶けていきます。動かないでいると耳石がまわりとくっついて吐くほどのめまいになりますが、ゴロンゴロン体操や首、肩を回すことで1週間後には約90%の患者さんに症状の改善が見られるそうです。

患者さんが日常生活で実践できる対策として、枕は高め、起床時のおむすびころりん体操、寝返りは多めに、水分を多めにとる、ラジオ体操などをあげられ「めまいは寝ては良くなりません。出来ることを積極的に行うことが大切です」とも。また、体力・筋力・関節の柔軟性が重要であり、柔道整復師にも力になって頂きたいと述べられました。

最後に「大丈夫、上手くめまいと付き合って、前向きに楽しく生きていこう」と安村先生。ゆっくり時間をかけて患者さんの話を聞き、その中から得られた情報が治療に役立つと同時に先生ご自身の学びになるともおっしゃり、今後の

私たちの仕事にも示唆を与えてくださる内容でした。



# 会員学術研究発表

開催日 ■ 令和6年2月18日(日)

会場 ■ 石川県地場産業振興センター新館

日々の施術を通して得た知識や情報を共有し高めあうことを目的に毎年実施しています。  
令和6年度は2名の会員が、一年間の研鑽・努力の成果を発表しました。

## 足関節捻挫における距骨滑車骨軟骨骨折～見落とされ易い距骨薄層骨折の一例～

金沢北支部  
磯松 俊也 会員



両会員が長年にわたって積み重ねてきた経験と日頃からの研究の成果を感じられる発表内容でした。

なお厳正な論文審査の後、6月16日(日)に長野市で開催される北信越ブロック学術大会の石川県代表は磯松俊也会員に決定いたしました。

## 腰椎分離すべり症と対応手技

加賀支部  
高熊 二夫 会員



ニツ谷剛彦会長より発表者に表彰状が授与された(写真左より磯松会員、ニツ谷会長、高熊会員)。

## 機能訓練・フレイル予防マニュアル 会員講習会開催

令和5年11月26日(日)、柔整会館で開催された「第1回機能訓練・フレイル予防マニュアル会員講習会」に30名の会員が参加しました。この講習会は、会員個々の施術所内で柔道整復師としての特性を活かした機能回復訓練・フレイル予防を正しく行うための技術向上と知識の統一を図ることを目的に実施しています。

まず、西剛志学術部長の「柔道整復師機能訓練指導者の活動項目」から講習が始まり、学術部員が交代でペインスケール・バランステスト評価表や通所個別機能訓練日報の記載について具体的

学術部員がマニュアルに基づいて解説。

に説明した後、STEP1から9までの段階別にフレイル予防運動について実技を交えながら詳細に説明しました。西学術部長は「この講習会は1回で終わるのではなく、皆さんが実際に訓練をされた経験を集めて2回目、3回目につなげていきたい」と述べ、質疑応答の後、終了しました。

また講義終了後、一人ひとりに修了証明書が手渡されました。



## 北信越学術大会

開催日 ■ 令和6年6月16日(日)

会場 ■ ホテルメトロポリタン長野



# 長野大会開催 小平奈緒氏が特別講演

### ワークショップ

「匠の技」伝承プロジェクトの山口登一郎、小野博道両講師による実技指導が行われました。

第44回北信越学術大会長野大会が午前9時より開催されました。開会宣言、大会長挨拶に続いて行われた特別講演には200人を超える聴衆が集まり、昼休憩を挟んで午後3時まで、ワークショップ、特別協賛発表、会員発表など興味深いプログラムが繰り広げられました。なお、前日の15日(土)に開会式と夕食会が行われました。



▲ 整復固定

◀ 超音波観察装置

### 特別講演(一般公開講座)

講師は2010年バンクーバーオリンピック女子チームパシュートで銀メダル、2018年平昌オリンピック女子500m金メダル、1000m銀メダルを獲得した小平奈緒氏です。2022年に現役を引退し、現在は相澤病院のブランドアンバサダーとして人や心をつなぐ活動にあたっている小平氏に「知るを愉しむ～生まれ持ったカラダで表現する」をテーマにお話を頂きました。

講演は、スケート競技人生を振り返り、知ることを楽しみながらパフォーマンスに結びつけてきた過程をいくつかのテーマ毎にエピソードを交えながら進められ、特にケガをした時にコーチ、家族、友達、メディカルスタッフなどそれぞれに何を一番求めるのか、ご自身の経験を基に話されました。

### 会員発表(石川県代表)

## 「足関節捻挫における距骨滑車骨軟骨骨折～見落とされ易い距骨薄層骨折の一例～」 磯松 俊也会員

距骨滑車骨軟骨骨折は薄層骨折とも呼ばれ、単なる足関節捻挫として誤診されることが非常に多い。単なる捻挫として放置してしまった結果、

長期にわた

る持続的な疼痛が発生し、MRI検査で骨折と診断された一症例について検証した。

磯松会員の発表で座長を務める西剛志学術部長。



※会員発表は北信越5県から実技発表を含む6題が発表されました。

※詳細については学会誌抄録をご参照ください。



## 嶋谷清特別顧問

# 「旭日双光章」を受章

令和5年11月の叙勲において、本会の嶋谷清特別顧問が「旭日双光章」を受章されました。11月8日に石川県庁で行われた伝達式で石川県知事より勲記と勲章が手渡され、翌9日には皇居豊明殿において天皇陛下の拝謁を賜りました。

## 榮譽に恥じない精進を 重ねてまいります

公益社団法人石川県柔道整復師会 特別顧問 嶋谷 清

会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私は、令和5年11月の叙勲に際し、大変名誉ある旭日双光章を賜り誠にありがたく、厚く感謝申し上げます次第です。同月9日に家内共々皇居豊明殿において天皇陛下の拝謁を賜り、お言葉を大変ありがたく拝聴いたしました。

これもひとえに、今日まで業界を築き上げてこられた先達の先生をはじめ、関係各位のお陰と重ねて深く感謝申し上げます次第です。会員皆様のご理解とご協力を頂きながら公益事業の目的でもある県民の健康増進と保健衛生の向上を図ってきたこれまでの活動が評価を頂き、会員皆様を代表して拝受させて頂いたものと思っております。

私は今後この榮譽に恥じることはないよう、一層精進してまいります所存です。これまでお世話になりました皆様方に直接お礼を申し上げるべきところではありますが誌面でのご挨拶になりましたこと、ご容赦頂ければ幸いに存じます。

結びに、皆様のご健康とご多幸、そして本会の更なる発展をお祈り申し上げ、簡単ではありますがお礼の挨拶とさせていただきます。



### 【プロフィール】

平成9年より6期12年間、本会理事を務める。加賀支部長、学術部長、総務部長等を経て、平成21年に副会長に就任。平成27年から4期8年間、第11代会長を務め、現在は特別顧問。

平成29年より8年間、日本柔道整復師会の監事を務める。



「叙勲制度ノ件」によれば、旭日章は「国家又ハ公共ニ対シ勲績アル者」に授与され、「社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者を表彰する場合に授与する」とあります。嶋谷清特別顧問への授与は「国民の健康又は公衆衛生の向上及び増進に寄与した者」「公益に寄与した者」に相当し、その功績内容の重要性や影響、果たした責任の大きさが高く評価されたものです。



## サポート接骨石川 (SSI) 活動

# 第73回 金沢百万石まつり

令和6年5月31日(金)から6月2日(日)の3日間、第73回金沢百万石まつりが開催されました。本会の赤十字奉仕団・サポート接骨石川 (SSI) は日本赤十字社石川支部の要請を受けて、1日に行われた百万石行列と百万石踊り流しで救護活動を実施しました。

百万石行列は金沢百万石まつりのメイン行事です。今年は前田利家公を仲村トオルさん、利家公の正室お松の方を夏菜さんが演じ、さらに能登半島地震応援企画として行列の先導隊が能登へのメッセージを記した横断幕を掲げて午後2時にスタートしました。沿道には昨年より2万人多い41万人の観客が集まり、煌びやかな行列を見守りました。また、午後6時からの百万石踊り流しには市内の企業・団体・グループ65チームが参加。飛び入りでの参加も加えた約8,000人が夜の街を彩りました。

金沢百万石まつりでは毎年、様々な専門分野の奉仕団が祭りの安全のために活動しており、今年は総勢116名での実施となりました。本会からは金沢北支部の4名の会員が赤十字奉仕団の一員として、転倒による捻挫、打撲、擦過



お松の方を演じる夏菜さん。



前田利家公役は仲村トオルさん。

救護センターには医師や看護師も常駐。

傷、熱中症(疑い)の方の手当て、救急搬送時の進入路の確保等の救護活動にあたりました。

本会の参加も今年で14回目となり、各団体との交流が広がるなど有意義な活動となっています。巡回中に起こる沿道の観客の手当てや救護本部に訪ねてきた方の救護を通して、様々な方に喜んで頂けるこの活動に今後も参加していきたいと思っています。



踊り流しが終わる午後8時まで巡回は続いた。



各奉仕団との交流も生まれた。



## 会旗争奪少年柔道大会・少年柔道形競技会

# 少年柔道団体戦、形競技に 観客席から熱い声援

晴天に恵まれた5月12日(日)、第37回(公社)石川県柔道整備師会会旗争奪少年柔道大会・第1回少年柔道形競技会が石川県立武道館で開催されました。コロナ禍で無観客での開催が続いていましたが今年は制限もなく、観客席には開会前から続々と選手の家族、関係者が詰め掛け、応援の声が会場に溢れました。



野々市中央分団の  
多賀楓人選手が元気に宣誓。

### ■ 被災地 能登から5チームが参加

柔道団体戦には県内各地より16チーム82名の選手が参加、会場は選手達の熱気であふれました。また、被災した能登地区の5チームは道路状況が悪いため、早朝4時に出発しての参加となりました。開会式では、「野々市中央分団」の多賀楓人選手が「地震に負けずに頑張ります！」と元気に選手宣誓を行い、決戦の火蓋が切られました。

決勝は小松の「全日本柔道少年団小松分団」と羽咋の「邑知少年柔道教室」が対戦、大声援の中、3対2で接戦を制した「全日本柔道少年団小松分団」がうれしい初優勝を飾りました。

今年度から新たに開催されることになった形

競技は、技をかける「取」と技を受ける「受」の2人1組で行われます。形には「投の形」「固の形」「極の形」「柔の形」などの種類があり、今大会は「投の形」で行われました。競技には6チームが出場し、窪田柔道倶楽部の西田・酒元選手の組が優勝を飾りました。

### ■ 地震の影響で会場も変更

昨年までの会場が能登半島地震の避難所になり使用できないなど地震の影響も受けましたが、無事開催にこぎつけることができました。また、大会当日は早朝から実行委員が集合して運営にあたり、石川県柔道連盟、各柔道教室の指導者や保護者をはじめ多くの方々の協力とご支援により今年も大会を終えることができました。これからも事業部を中心として、この歴史ある素晴らしい大会を継続していきます。

なお、今大会で優勝した全日本柔道少年団小松分団と窪田柔道倶楽部は、11月17日(日)に東京・講道館で開催される日整全国少年柔道大会・形競技会に石川県代表として出場します。

子ども達の熱戦に  
観客席も熱くなる。





優勝は全日本柔道少年団小松分団、邑知少年柔道教室、どちらに？



観客席からの声援を受けて熱戦が続く。



「取」と「受」、息がぴったり合った演技。

初の全国大会出場ですが、チームの皆で力を合わせて全力で戦いたと思います。応援よろしくお願いします。

監督 高岡 浩平

石川県代表として試合に向けて日々鍛錬に打ち込みます。全国大会では仲のいい二人の良いところを出せるように頑張ります！

監督 窪田 和樹



団体戦優勝

全日本柔道少年団小松分団

### 【柔道団体戦】

- 優勝 全日本柔道少年団小松分団
- 準優勝 邑知少年柔道教室
- 3位 窪田柔道倶楽部
- 3位 松任柔道スポーツ少年団
- 最優秀選手 山根 明青(小松)
- 優秀選手 永井 佑歩(小松) 松浦 祐樹(邑知)
- 渡邊 風介(窪田) 久保田 樹(松任)



形競技会優勝

窪田柔道倶楽部

### 【形競技会】

- 優勝 窪田柔道倶楽部
- 取・西田 莉衣桜 受・酒元 心晴音
- 準優勝 犀川柔道教室
- 取・吉澤 叶美 受・中田 和希
- 3位 鶴来坂田道場
- 取・丸山 莉歩 受・中島 慶人

教えて先生!

「ひじ抜け」

ちゅうないしょう

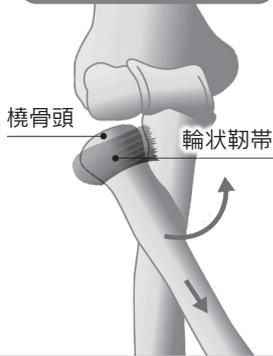
# 突然の小児肘内障! どうしよう?



先日、5歳の息子と手をつないで歩いていたら、急に「イタイ、イタイ!」と泣き出して腕をダランとさせて動かさなくなりました。そんな時、どうすればよいのでしょうか。

おそらく肘内障だと思われます。肘内障は橈骨頭を取り巻いている輪状靭帯と回外筋が橈骨頭からずれた状態(亜脱臼)で、つないでいるお子さんの手を強く引っ張った時などによく起こります。鉄棒にぶら下がったり、転んだりした時などにも発生し、肘をやや曲げて腕を下げたまま動かさなくなります。肘を動かそうとするととても痛がりますが、肘に腫れや変形などは見られません。

### 肘内障の発生機序



今後、どのようなことに注意すればいいでしょうか。

肘内障になる子どもは輪状靭帯がしっかりとしてくる7歳ぐらまで繰り返し発症することが多いので、急に手を引っ張らないように注意しましょう。もし、同じような症状になったときは整形外科か接骨院で診てもらいましょう。



この様な場合は、どう対処したらよいでしょうか?

まずは整形外科や接骨院で整復してもらいましょう。整復によってずれた輪状靭帯と回外筋をもとの位置に戻すのですが、正しく整復されると肩の上まで腕を上げられるようになってきます。しばらく様子を見て痛めた方の手でアメやお菓子をつかむことができるか、肘の曲げ伸ばしができかを確認し、できるようになれば大丈夫です。



## まとめ

- 肘内障(ひじ抜け)とは、輪状靭帯と回外筋が橈骨頭からずれた亜脱臼の状態
- とても痛がり手を下げたまま動かさなくなるが、肘に腫れや変形はない。
- 上記の症状は整形外科か接骨院へ。
- 繰り返し起こすことがあるので、子どもの手を急に強く引っ張らないように注意する。



第30回

# 石川県柔道整復師協同組合 通常総会を開催

組合員数 / 278名  
出席者数 / 83名  
委任者数 / 139名  
欠席者数 / 56名

令和6年5月19日（日）午後1時より石川県地場産業振興センターにおいて、第30回石川県柔道整復師協同組合通常総会が開催されました。



厳しい状況であればこそ、相互扶助の精神を大切に組合運営にあたりたいと橋本理事長。

開会にあたり、橋本大衛理事長より挨拶がありました。橋本理事長は能登半島地震で被害を受けた方々へのお見舞いの言葉に続き、「今年1月の震災を受けて、当組合でも業者様とのコラボ研修会を中止いたしました。また、諸物価高騰のため申請書や施術録の値上げを余儀なくされる結果となりましたが、ご理解のほどよろしくお願いたします。今日は、定款の変更、選挙規約の設定、地震の被害が甚大な地域に施術所がある組合員に対する賦課金の免除等について審議して頂き、速やかに実行してまいります。能登半島地震をはじめ様々な要因で我々の業界も厳しい状況が続きますが、組合の理念である相互扶助の精神のもと、初心に帰って組合運営を進めていきたいと思っております」と述べました。

その後、議長に坂井秀一組合員（金沢南支部）が選出され審議が行われました。



坂井秀一組合員が議長に選出された。

【議事】

第1号議案 令和5年度事業報告  
担当 / 山崎 一平総務委員長



来 審議を見守る来賓の皆さん。

- 第2号議案 令和5年度収支決算報告及び余剰金処分案並びに監査報告  
担当 / 南野 立志財務委員長
- 第3号議案 令和6年度事業計画(案)  
担当 / 山崎 一平総務委員長
- 第4号議案 令和6年度収支決算(案)  
担当 / 南野 立志財務委員長
- 第5号議案 定款変更(案)  
担当 / 山崎 一平総務委員長
- 第6号議案 役員選挙規定設定(案)  
担当 / 山崎 一平総務委員長
- 第7号議案 規約変更(案)  
担当 / 山崎 一平総務委員長
- 第8号議案 能登半島地震の被害が大きかった地域の組合員の賦課金免除(案)  
担当 / 山崎 一平総務委員長
- 第9号議案 その他

以上の議案に対して活発な意見、質問、提案が交わされ、全ての審議は可決され閉会となりました。



隣の会場で指定業者の展示会も行われ、参加事業者からあいさつがあった。

# secret spot

あなたの知らない石川県

番外編

## 生々しい巨大地震の爪痕 それでも能登の海、山は美しい

能登のシンボリック的存在だった見附島が地震で崩れる様子は衝撃でした。そして、4メートルもの海底隆起。能登を象徴するアレもコレもが激しく姿を変えてしまったけれど、そこに住む人は変わらず優しい。そして能登の自然はやっぱり美しいのです。

昔むかし、私が子どものころ、能登観光ブームがありました。「最後の秘境」などと大きなお世話なキャッチコピーまで付けられて、鉄道は観光客であふれ、線路の通っていない私の田舎にも観光バスが列をなして行き交っていました。「海と山しかないのに、都会の人は物好きだなあ」などと思ったものです。

そんな私が改めて能登を知ることになったきっかけは、昨年、3回目が開催された「珠洲奥能登国際芸術祭」でした。市内30か所以上に置かれた、何だか訳がわからないアート作品が面白くて何回も珠洲へ通ううちに、内浦と外浦で全く異なる表情を見せてくれる自然や漆黒の能登瓦の屋根が続く街並みの美しさに、「能登っていいね!」と気付いたのです。



地震で崩れた見附島は軍艦の形をとどめていない(2017年撮影)。

輪島の朝市に寄って七ツ島を眺めながら珠洲へ行き、ショッピングプラザ「シーサイド」の「道づれ」で定食を食べ、帰りは立山連峰を望みながら小木や宇出津から穴水、七尾まで走るといふ海岸沿いのルートが好きでした。能登の自然も、能登の街並みも、言葉を交わす能登の人みんな好きでした。

「能登っていいなあ。今度はどこ行こうか」と思っていた矢先、今年の元日に能登半島地震が起きました。230人以上の人が亡くなり、24,000棟の家が全半壊し、輪島の朝市通り、千枚田、七尾の一本杉通り、珠洲の見附島などの観光地も壊滅的な被害を受けてしまいました。能登全体の100キロ以上の範囲で家が倒壊し、海岸が一瞬で4メートルも隆起して、内灘



地盤の隆起で海底が露出した門前町の黒島漁港。

町や金沢市にまで被害が及ぶ巨大な地震の前には人間の力なんて微力過ぎます。まだまだ支援の手が回っていない状況ですが、全国からの協力で復興と復旧は少しずつ進んでいます。本当に感謝しかありません。

そして、それでも能登の海と山は美しい。

記憶に留めたい  
能登の風景



秘かな観光スポット  
門前町の「トトロ岩」も右耳が欠損(2023年撮影)。



看板をアート作品にした珠洲のショッピングプラザ。元日は営業中で全員無事避難するも、津波で全壊(2021年撮影)。

観光客で賑わった輪島朝市は300軒が焼失した(2016年撮影)。

# Topics

-トピックス-

## トピックス①

### 各支部で保険講習会を開催 オンライン資格確認ほかデジタル化に 向けた業界の動きを説明

令和5年12月3日(日)から令和6年3月24日(日)にかけて、各支部で保険講習会を開催。金沢北・南支部合同と加賀支部は令和6年能登半島地震の影響で日程の変更を余儀なくされ、当初の予定より遅い実施となりました。

講習会では、真酒谷清保険部長から「令和4年度の医療費の動向」「令和4年度本会の請求状況と返戻状況」「申請内容の問題と対策」「オンライン資格確認」について、また



真酒谷 清 保険部長

続いて西川典孝保健担当副会長より、「能登半島地震救護活動」「マイナポータルサイト導入に向けた準備作業」「柔整療養費検討専門委員会の決定事項」について説明がなされました。



西川 典孝 副会長

各支部とも多くの会員が参加し、講義終了後の質疑応答の時間ではマイナポータルサイトの導入について、また日頃の業務の中で疑問に思っていることなどについて質問があり、活発な意見交換がなされていました。



#### 能登支部

日時：令和5年12月3日①  
午前9時30分から  
会場：七尾市サンライフプラザ



#### 金沢南支部 金沢北支部合同

日時：令和6年3月17日①  
午前10時から  
会場：ホテル金沢



#### 加賀支部

日時：令和6年3月24日①  
午前9時30分から  
会場：小松市第一地区コミュニティセンター

## トピックス②

### (公社)日本柔道整復師会「匠の技」伝承プロジェクト 指導者養成講習会を受講

令和6年4月14日(日)日本柔整会館において、令和6年度第1回「匠の技」伝承プロジェクト2024年度指導者養成講習会(指導者評価確認講習)が開催されました。今回は24都道府県の柔道整復師会から48名が参加して、鎖骨・肋骨骨折、肘関節後方脱臼をテーマに整復・固定技術の合同実技実習と超音波観察装置取扱技術実習が行われました。



24 都道府県から48名が参加。

講習会は午前10時より、徳山健司日整学術教育部長による指導者実技評価確認方法の説明に始まり、小野博道講師の「エコー画像描出操作ポイント」、山口登一郎講師による「整復・固定技術ポイント」の解説がありました。実習後、実技評価確認に向けてのシミュレーションを行い、午後12時30分から3時間30分にわたる実技評価確認が開始されました。本会から参加した大平和幸会員と高橋真哉会員は、総合評価Aの評価を受けました。

今回受講した大平会員は「今日ここで学んだことを近いうちに会員の皆さんに伝承出来るようにしていきたい」、また高橋会員は「参加した2回の講習内容を皆様に分かり易くお伝えできるように取り組んでいきたい」と抱負を述べました。



整復・固定技術  
ポイント

エコー画像描出  
操作ポイント

## 新入会 紹介 員



よろしくお願ひします!



金沢南支部

令和6年5月19日入会

**山下 泰明** (やました やすあき)

生年月日 昭和60年2月8日  
出身校 北信越柔整専門学校  
住 所 野々市市栗田1丁目127番3号  
接骨院名 山下接骨院  
電 話 076-246-6675  
特技・趣味 スキー

## 編 集 後 記

❖この編集後記を執筆している7月で、能登半島地震発生から半年の月日が流れました。この災害によりお亡くなりになられた方に謹んでお悔やみを申し上げると共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今号では「特集」などでこの災害について大きく取り上げさせて頂きました。地震発生直後より、石川県柔道整復師が災害本部を立ち上げ、延べ159名の会員がどのような形で各避難所を巡り救護活動を行ってきたかを時系列でまとめました。令和7年2月に発刊予定の次号では、発災から1年を迎えようとする被災地の現状など、柔道整復師としての目線で特集を組みたいと思っております。

❖父が能登半島七尾市、母が羽咋宝達志水町の出身で、両方の祖父母が健在の頃はしょっちゅう両親に連れられ、夏休みなどはほとんど七尾が羽咋で過ごしていました。今でも少年時代に見た能登の景色、海のおいが懐かしく思い出されます。表紙の輪島市黒崎漁港の海底隆起をはじめ多くの景観が破壊されたことを救護活動や本誌作成に携わる中で見るにつけ、一日も早く穏やかな能登半島に戻ってくださることを願ってやみません。広報誌で情報を発信することで少しでも能登の方々のお役に立てればと思いつつ、広報部メンバー丸となって次号作成に取り組みます。 (森田 記)

❖能登半島地震により、被害に遭われた会員・家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

❖今年の夏は、パリオリンピックが話題です。メジャー競技やメダルを期待できる競技はもちろん、テレビでは滅多に放送されない競技を観られることもオリンピックの楽しみの一つです。日本はいくつのメダルを獲得しているか？感動的な試合を見られるか？このピバ・シティが皆様に届く頃には結果は出ていますが、今は唯々楽しみであります。

❖「夏の食べもの」と言えば、何を思い浮かべるでしょうか？人それぞれ好みがあり、いろいろな意見が出るのが楽しいところでもあります。かき氷・スイカは冷たくて美味しく、暑い時こそ辛い物でカレーライスも良いでしょう。外せないのはバーベキューで、夏のレジャーの王道であります。そこで私と申しますと、うなぎの蒲焼きこそ夏の食べものNo.1だと思います。本格的な夏が近づくにつれて、テレビでうなぎの蒲焼きの話題を目にすることが増えてきましたが、値段を見ると一抹の不安がよぎります。「今年の夏はうなぎの蒲焼きをどれだけ食べられるだろうか…」。ピバ・シティが届くまでに一度は食べたいと思っております。

(中川 記)



ピバ・シティVOL.33 石整広報119 (2024年8月20日発行)

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会  
石川県金沢市広岡2丁目3-26  
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196  
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／ニッ谷 剛彦

■編集者／西川 典孝・森田 一哉・中西 勝・中川 渉・中野 秀人・平林 祐一・太田 信幸・森 陽一郎



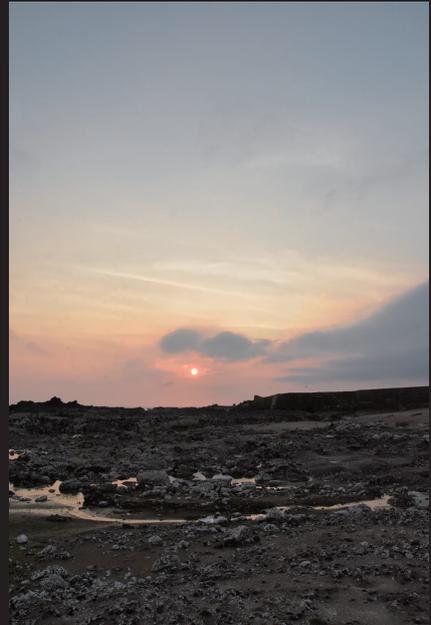
公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26

TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196

E-mail [ishiju@spacelan.ne.jp](mailto:ishiju@spacelan.ne.jp)

URL <https://jyuusei-ishikawa.jp>



撮影 能登支部 中野 秀人 会員  
使用カメラ:ニコンD7200  
レンズ:NIKON DX AF-S18-200mm  
f/3.4-5.6ED  
絞り:f/13 露出:1/640  
ISO:1600 焦点距離:18mm

[輪島市門前町 黒島漁港]

地震で被害を受けた実家の片付けの帰りに見た夕日がきれいで、次の日曜日にカメラを持って行ったら雨。次の日曜日も雨。その次の日曜日ようやく撮影できました。思っていたのとは違うけど。

4メートル隆起した黒島漁港の、1月1日までは海の底だった海岸です。